富山市立大泉中学校だより

令和4年2月28日 第10号

1

ず

4

大泉中プライド

校長 牧 勇人

先日、あるフォーラムに参加しました。食育に関する講演が中心でしたが、話の途中で講師が「富山プライドって何だと思われますか?」と参加者に問われました。私の頭の中では、「水」「海洋資源(お魚)」「米」「日本酒」が浮かんでいましたが、残念ながらそれ以上は挙げられませんでした。みなさんだったら何を挙げますか? ちなみに、講師は、まずは「水」と言われました。その理由として、富山市の水道水のペットボトル「とやまの水」が、何度もモンドセレクションの最高金賞を受賞していることなどを挙げられました。ただ、こんなにすばらしい水が当たり前にある環境なのに、スーパー等では違う地域・違う国の水が売られていることに違和感があり、残念だともおっしゃいました。ここが「プライド」に関わってくる重要なポイントだと思い、話を聞いていました。その時、私は、ハッとなりました。「大泉中プライド」つまり「大泉中学校はこんな魅力のある、素敵な学校です」と胸を張って周りに伝えられることは何だろうと。「優しい」とか「頑張る」などの漠然とした言葉ではなく、具体的な姿や数値で明確に分かるように挙げるならば何だろうと、着任してから今までの時間を遡るとともに、先輩の先生方や地域の方々の言葉を振り返りました。

私なりの「大泉中プライド」、それは二つあります。

一つ目は、「生徒自治の校風」です。今年度は、服装面に関する生徒心得の見直しを図りました。また、クロムブックの使用ルールの策定等を行いました。いずれも、生徒会執行部が主体となり、学級会や全校集会でしっかり協議・採決し、最後は生徒会会則第29条に則り最終決定に従うという段取りが取られています。この動きは、一朝一夕にできるものではありません。大泉中学生に脈々と流れる自治の精神が、遺憾なく発揮されているのだと思います。

二つ目は、「保護者・地域からの愛」です。生徒の皆さんは、当たり前に登下校し、当たり前に学校生活を送っていると思っているかもしれませんが、本校を支えてくださる諸団体や地域住民の方々と話をすると、必ず皆さんの様子を見守ってくださっているのはもちろん、皆さんの姿から元気をもらっているとおっしゃいます。今年度の体育大会では、昼前に強風となりテントが飛ばされそうになりましたが、依頼しなくとも保護者の方が協力してくださり、速やかに片付けることができました。

これからは、より具体的な姿や数値を根拠として「大泉中プライド」を語ることができるよう、取り組んでいきたいと思います。



生徒会主催「あいさつ週間」

2月14日(月)~18日(金)の毎朝、生徒玄関では「あいさつ週間」を実施しました。 爽やかな挨拶を交わすと、生徒会執行部から雪を模したシールを一枚渡されます。生徒

はシールを大泉中学校の校舎のイラストが描かれた模造紙に貼り、挨拶の雪を降らせていました。玄関内の掲示物には、多くの雪のシールが積もり、とてもよい雰囲気になっています。外の雪は大変ですが、この「挨拶の雪」は心が温まります。





美術部作品 お礼状をいただきました

3 学期の始めに、美術部の作品を中央 小学校で展示しました。そして先日、中 央小学校から作品を返却していただきま したが、校長先生からのお礼状や、中央 小の児童の皆さんの温かな感想が添えら れていました。生徒にとって、大変励み

になりました。お 礼状と感想、展示 の様子は生徒玄関 で紹介させていた だいております。



3年生の美術作品を 展示しました!

3年美術科で取り 組んだ「自画像」作 品を展示しました。 2月の進路相談会に 合わせ、保護者の皆 様にもご覧いただき ました。



3年生の皆さん。「今の自分」としつかりと対話して、「未来」への夢や希望、目標に向けて、もうひとふんばりです。大中に関わる全員が皆さんを応援しています!

修学旅行に向けて



2年生は、修学 旅行の事前学習と して、班別に働く 人へのインタビュ ーのためのアポイ

ントメントを取っています。

交渉はなかなか難しく、どうすれ

ばよいかはあいないないがありがいないがいないがいない。 がありがいない。 がいまればない。 がいます。



3月の予定

- 8日(火)~9日(水)県立高校一般選抜
- 8日(火)先輩に学ぶ会(2年)
- 10日(木)3年生を送る会、部活動送別会 受賞報告会
- 1 4日(月)大中の日、県立高校追検査、 同窓会入会式、卒業式予行
- 15日(火)第69回卒業証書授与式
- 21日(月)春分の日(祝日)
- 23日(水)給食最終日
- 2 4 日 (木) 修了式
- 25日(金)~4月5日(火)学年末休業